

軸となる取組・活動～授業改善

＜岡崎・近衛中学校ブロックの小中一貫教育＞

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つけたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。(適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。)

義務教育卒業時につけたい力								
将来の生き方を見据え、自己実現を目指し主体的に学ぶ力								
学びの基礎を作る時期		学びを広げる時期		学びを深める時期		主体的に学ぶ時期		
すすんで話を聞き友達と楽しく学習しようとする子		友達の思いや考えを知り、自分の考えと比べて意欲的に学習しようとする子		思いや考えを広げ自ら課題を見つけて学習しようとする子		自己の夢や可能性を追究し、粘り強く自己実現する生徒		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動								
<第三錦林小学校の取組> 漢字や計算などの復習を繰り返し行い、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけられるようする。 ① 対話することで思いを明確に表現する。話し手や書き手の思いを受け取り、自分の体験と結び付けて思いや考えを表すことができる。 ② 読書指導の定着 ③ 語彙力アップの為の取組の充実 ④ 家庭学習の定着 ⑤ GIGA 端末を学習に活用する。人権教育を基盤にした学級経営を進める。	① 友達との共通点や相違点に着目して、自分の思いや考えをまとめることができる。 目的や相手を意識しながら、対話することで、思いや考えを深める。 ② 読書指導の充実 ③ 語彙力アップの為の取組の充実 ④ 家庭学習の充実 ⑤ GIGA 端末を日常的に活用する。 ⑥ 人権教育を基盤にした学級経営を進める。	① 他者との対話から、思考を広げたり深めたりし、自分の伝えたことを表現できる。 他者と自分の考えについて比較したことをもとに再試行し、発信する。～語彙を豊かにする取り組みを充実させて生きて働く力につなげる～ ② 読書指導の充実 ③ 語彙力アップの為の取組の充実 ④ 自学自習の仕方の習得 ⑤ GIGA 端末を課題や目的に応じて適切に活用する。 ⑥ 人権教育を基盤にした学級経営を進める。	<岡崎中学校の取組> ① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と評価を意識した指導を行う。 ② カリキュラムマネジメントを意識した教科指導を徹底する。 ③ ICT 機器を効果的に活用した授業を展開する。 ④ 学習規律（規範意識）の向上を全教科において徹底する。 ⑥ 総合育成支援教育の視点を取り入れた指導を徹底する。					
<錦林小学校の取組> ①目標やめあてを設定し、「なりたい自分」に近づくために、「考える」「決める」「実行する」過程を大切にする。 ②様々な出会いを経験し、関心を高め自分の好きなこと得意なこと・できることを増やして生き生きと活動できるようする。 ③人権教育を基盤に、生徒指導の三機能を意識した授業づくり、集団づくり、自分づくりを行う。	①目標やめあてを設定し、「なりたい自分」に近づくために、「考える」「決める」「実行する」過程を大切にする。 ②家族や友達、周囲の人々との関わりを深め、自分及び他者の大切さに気付き自分によさや役割が理解できるようする。 ③人権教育を基盤に、生徒指導の三機能を意識した授業づくり、集団づくり、自分づくりを行う。	①目標やめあてを設定し、「なりたい自分」に近づくために、「考える」「決める」「実行する」過程を大切にする。 ②自分の役割や責任を果たして集団の中で自分を生かす喜びを得し、社会と自分とのかかわりから夢や希望をふくらますことができるようする。 ③人権教育を基盤に、生徒指導の三機能を意識した授業づくり、集団づくり、自分づくりを行う。	<近衛中学校の取組> ①生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進め、新学習指導要領への理解を深める。 ②ユニバーサルデザインを基本に、支援の必要な生徒への理解を深める。 ③学校運営協議会の立ち上げとともに、地域の人的物的教育資源を有効に活用した「地域とともににある学校づくり」を推進する。 ④「近衛の子につけたい資質能力」を目指す子ども像と位置づけ、カリキュラムマネジメントの視点で、あらゆる教育活動を通して、その実現を図る。					
<第四錦林小学校の取組> ①学習のルールを身につけ、自己決定できる学習集団をつくる。 ②GIGA 端末を学習に活用できるようする。 ③自分の思いや考えを言葉に表す。 ④自分の体を相手の方に向けて、最後まで話を聞く・話す。 ⑤相手に伝わるように実物・写真・動画等を活用して、工夫して表現する。 ⑥家庭学習の定着を図る。	①学習のルールを徹底し、自己存在感を高める学習集団をつくる。 ②学習の道具として GIGA 端末を日常的に活用できるようする。 ③自分の思いや考えを順序立て書き・伝える。 ④相手の話を受け止め、自分の思いや考えと比べながら聞く・話す。 ⑤相手や目的に応じて、プレゼンテーション等の表現方法を選択し、表現する。 ⑥自学自習の習得を図る。	①共感的人間関係を生かし、課題に挑戦する学習集団をつくる。 ②課題や目的に応じて GIGA 端末を選択し、学習を深めることができるようする。 ③自分の考えを受け手の状況に合わせて整理し書き・伝える。 ④話し手の内容を丁寧に聞き取り、自分の考えと照合して理由や根拠を示しながら話す・聞く。 ⑤相手や目的、意図に応じて適切な複数の表現手段を組み合わせ、相手とのやり取りを含めて表現する。 ⑥自学自習の習慣化を図る。						

<p><北白川小学校の取組></p> <p>① 児童一人ひとりがもっている力や個性を最大限に發揮できる学習環境のもと、主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを周りと語り合い、より深化させていく姿を目指す。</p> <p>② 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。</p> <p>③ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。</p> <p>④ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容やよいところを見つける。</p> <p>⑤ 家庭学習の充実を図る。</p>	<p>① 児童一人ひとりがもっている力や個性を最大限に發揮できる学習環境のもと、主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを周りと語り合い、より深化させていく姿を目指す。</p> <p>② 図書館を利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する。</p> <p>③ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。</p> <p>④ 必要なことを記録したり質問したりしながら、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。</p> <p>⑤ 自学自習の充実を図る。</p>	<p>① 児童一人ひとりがもっている力や個性を最大限に發揮できる学習環境のもと、主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを周りと語り合い、より深化させていく姿を目指す。</p> <p>② 複数の本や新聞などを活用して調べたり考えたりしたことを報告する。</p> <p>③ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p> <p>④ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方にについて考えたりする。</p> <p>⑤ 自学自習の充実を図る。</p>
<p><中学校ブロックとしての取組></p> <p>◎公開授業の参観</p> <p>◎校内授業研究 → 授業の「めあて」と「まとめ」(評価・振り返り)の明示 (授業改善) ・支援の必要な生徒に配慮した授業の展開 ・ペア学習、グループ学習による学び合いの実践 ・有効な家庭学習の提示 ・変化に富んだ授業の展開</p> <p>◎生き方探究パスポートの様式を4小学校で統一、2中学校も統一、共有化</p>	<p>○夏季休業中の6校合同研修会</p> <p>○各主任研修会</p>	<p>◎「特別の教科道徳」「総合的な学習の時間」を軸とした小中一貫の実践 ・両部会の担当者による情報交換(年間指導計画・題材・教材・資料他) ・各校の目標やねらい、テーマのすりあわせ(共通事項の検討) ・9年間を見通した指導計画の作成 ・目標(ねらい)や振り返り(まとめ)の形式の統一 ・評価やそこに至る過程を検討する場の提供 ・授業公開や研修会の計画、実施</p>

学びの約束・ルール										<岡崎・近衛中学校ブロックの小中一貫教育>		
項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）			
コミュニケーション (話すこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことや経験したことなどから話題を決めて話す事柄を順序立てて話す。 ・聞こえる声で話す。 ・相手の顔を見て話す。 ・おわりまでしっかりと話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す事柄について理由や事例などを挙げながら、筋道立てて話す。 ・聞く人を見ながら適切な声で話す。 ・声の大きさと速さに気を付けて話す。 ・話の中心を意識して話す。 ・資料を見せながら話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確に伝わるように話の構成を工夫して、経験したことを関係付けながら話す。 ・聞き手を意識しながら適切な声で話す。 ・声の大きさと速さに気を付けて話す。 ・順序を考えて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を工夫して話す。 ・立場や考えの違いを踏まえて話す。 ・相手や場に応じて話す。 								
(聞くこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。 ・相手の顔を見て聞く。 ・いい姿勢で聞く。 ・おわりまで聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心に気を付けて聞き質問をしたり感想を述べたりする。 ・話す人の顔を見て聞く。 ・うなずきながら聞く。 ・メモをとりながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 ・話し手を見て聞く。 ・うなずきながら聞く。 ・自分の思いや考えと比べながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図をと考えながら聞く。 ・考えを比べながら聞く。 ・表現の工夫を評価して聞く。 								
ノートづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・マスの中にていねいな文字で書く。 ・めあてにそって振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシートをていねいな文字で書く。 ・めあてにそって自分の考えをわかりやすく書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスや行を意識してていねいな文字を使って書く。 ・めあてにそって自分の考え方や友達の考え方を書いたり、わかりやすくまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、家庭学習につながるノート作りを目指す。 								